

第2次環境基本計画の進捗管理の考え方

1 施策の体系

第2次環境基本計画では、望ましい環境像の実現に向けた5つの基本方針に基づき、個別目標を定め、個別目標毎に取組みを示しています。さらに、多種多様な環境課題を解決するには、横断的な取組みが必要なことから、重要性、緊急性が高く、府中市の環境の特性を活かしていくための軸となる施策を「重点プロジェクト」として設定しています。

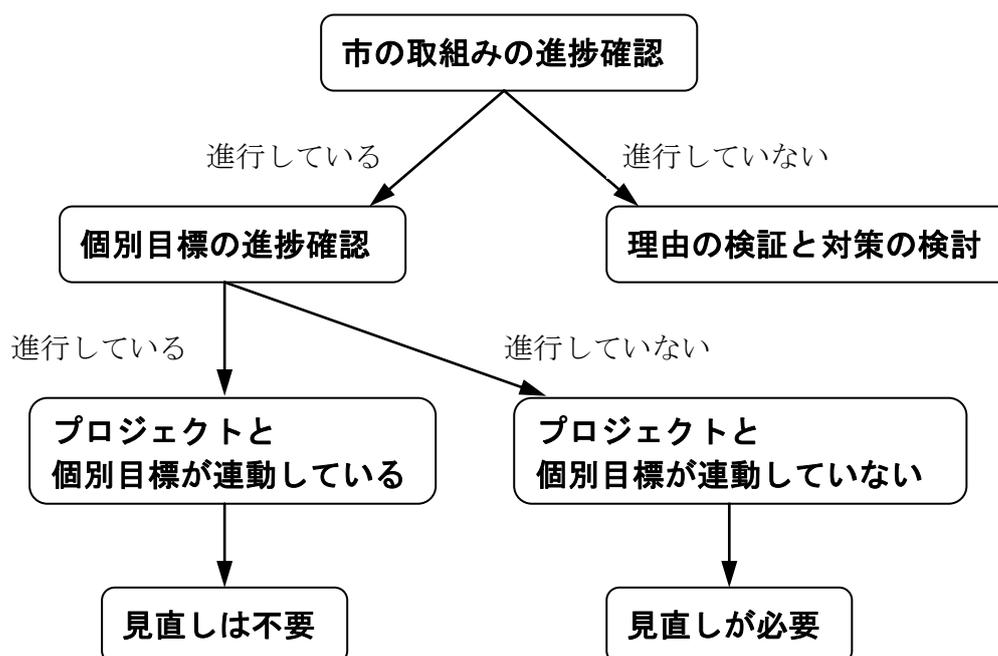
環境行動指針は、重点プロジェクトの取組内容をわかりやすく再編したもので、市民、事業者、行政の具体的、実績的な環境保全行動を促進するための手引書となるものです。

2 管理手順と考え方

環境行動指針に基づく市の取組みの進捗状況を確認します。取組が進んでいない場合は、その理由の検証と対策を検討します。

次に、個別目標の進捗状況を確認します。重点プロジェクトと個別目標が双方進行している場合は、重点プロジェクトと個別目標が連動しており、かつ、計画が進行しているため、取組内容の見直しは不要と判断します。重点プロジェクトは進行しているが、個別目標は進行していない場合は、重点プロジェクトと個別目標が連動していないこととなり、取組内容の見直しが必要と判断します。

【フローチャート】



3 資料の内容

- (1) 【資料1】望ましい環境像と施策体系
個別目標と重点プロジェクト（環境行動指針）の連動を確認します。
- (2) 【資料2】第2次環境基本計画環境マネジメントプログラム（環境行動指針）
活動指標を示すもので、市による取組みの進捗状況を確認します。
- (3) 【資料3】第2次環境基本計画個別目標取組
成果指標を示すもので、個別目標の進捗状況を確認します。